

# 天竜川鷲流峡復活プロジェクト

## 信州おもてなし大賞受賞



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,847人  
男子 3,331人  
女子 3,516人  
世帯数 2,604戸  
(2年4月末現在)

天竜川鷲流峡復活プロジェクトが、「信州おもてなし大賞」を受賞し、三月二十三日、長野県庁にて、授賞式が行われました。受賞の喜びと今後の展望をプロジェクト代表の曾根原宗夫さんに伺いました。

先日、信州おもてなし大賞受賞となりまして長野県庁にて授賞式に行つて参りました。

天竜川鷲流峡復活プロジェクトという市民団体の設立から早いもので五年が経ちました。

思い起こせば七年前、ゴミの不法投棄の絶えない渓谷に心を痛め、何とかならんもなかなか、と頭を抱える日々でした。渓谷内のゴミ拾いや枯れ竹や割れ竹の除去作業を船頭有志で細々と続けた日々、しかし広すぎるエリア、絶えない不法投棄に突き付けられる厳しい現実。四季折々の風光明媚な鷲流峡の景観への夢が崩れそうになりかけていた

時の竜丘地域の方との奇跡的な出逢いが一筋の光となりこのプロジェクトへと繋がったのです。

自分たちの故郷は自分たちの手で！全国から来られる観光客の皆さんに綺麗な景色を楽しんでもらいたい！何より楽しんで活動したい！メンバーみんな共有してきたこの想いが活動にもいろんな幅を広げ、飯田から全国へと可能性を広げるプロジェクトも生まれてきました。

竜丘地域自治会、信南交通(株)が協力して立ち上げ自治振興センターがサポートという地域、企業、行政が三位一体となった珍しい市民団体ですが、私はこの形はここ飯田市にとても



竹宵の桜



メンマづくり

また飯田に遊びに行きたい！とか、自分の故郷を大事にしたい！という想いが自然に湧き出るような活動にしていきたいと思えます。もしかするとこういった想いが「おもてなし」なのかもしれない、今回の受賞につながったのかもしれない。



受賞された皆さん



写真で楽しむ  
令和2年  
竜丘の春



「緊急事態宣言」の解除により、行動自粛等が徐々に緩和されていますが、新型コロナウイルス感染症の脅威が完全に無くなったわけではありません。

安心安全な日常生活を送れるように、今一度、各々が感染予防のため、丁寧な手洗いを行うことや、三密を避けるなどの「新しい生活様式」への移行を意識していきましょう。

（五月二十日現在）

あの人は持っている。テレビや新聞で見たり聞いたことがあります。私も持っているんですよ。私も持っているんですよ。

今から六年前、二〇一四年十二月十四日に開催された冬季スポーツフェスティバルでの出来事。私はワンドゥラバールというパレーに出場。相手チームのサーブが私の方へ飛んできたのでレシーブしようとして前に出たところアキレス腱に何か当たった、誰かに蹴られた様な感覚がありました。心の中では隣の人を疑いつつ歩こうとした次の瞬間です。何の前触れもなく突如やってきました。かかとをついて歩行が出来ませんでした。既にお気付きでしょう、そうですアキレス腱が断裂していたのです。その時は全く気にもせず直ぐに治ると思っていました。病院に行きコトの重大さに実感させられました。その後ネット検索に依り様々な情報や知識を得る事が出来ました。断裂時にはパチンと言うとても大きな音が出る事も知りませんでした。実際に動画がアップされており音を確認する事が出来ました。アキレス腱断裂、手術、松葉杖、ブーツ装着等、初体験ばかりで精神的にも辛い時期でしたがとても良い経験も出来ました。松葉杖についてコンビ二のドア開閉は非常に困難ですが親切に手伝って頂く事がありました。まだまだ人間捨てたものではない事を感じました。その節は大変御世話様になりました。心から感謝を申し上げます。今後この様な状況に遭遇した際はすすんで手を差し出します。

## コロナウイルス 猛威を振るう

昨年末から世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス。三月の卒業式や終業式、四月の入学式は、時間短縮、人数制限を設けるなど、大幅に縮小して行われました。我が子の晴れ舞台を直接目にすることができない保護者も多くみられました。

政府により、四月十六日から全国に拡大された「緊急事態宣言」は五月十四日まで続き、小中学校は五月十一日から地区別での分散

二日より臨時休校となり、三月の卒業式や終業式、四月の入学式は、時間短縮、人数制限を設けるなど、大幅に縮小して行われました。我が子の晴れ舞台を直接目にすることができない保護者も多くみられました。

政府により、四月十六日から全国に拡大された「緊急事態宣言」は五月十四日まで続き、小中学校は五月十一日から地区別での分散

**3つの密、絶対に避けて**

- 換気の悪い密閉空間
- 大勢がいる密集場所
- 間近で会話する密接場面

**新型コロナウイルス感染症には基本的な予防対策が有効です。**

- こまめに手を洗う
- 咳がでる人はマスクをかける
- 手の消毒
- よく眠り、バランスよく食べる



小学校入学式の様子

「緊急事態宣言」の解除により、行動自粛等が徐々に緩和されていますが、新型コロナウイルス感染症の脅威が完全に無くなったわけではありません。

安心安全な日常生活を送れるように、今一度、各々が感染予防のため、丁寧な手洗いを行うことや、三密を避けるなどの「新しい生活様式」への移行を意識していきましょう。

（五月二十日現在）

あの人は持っている。テレビや新聞で見たり聞いたことがあります。私も持っているんですよ。私も持っているんですよ。

今から六年前、二〇一四年十二月十四日に開催された冬季スポーツフェスティバルでの出来事。私はワンドゥラバールというパレーに出場。相手チームのサーブが私の方へ飛んできたのでレシーブしようとして前に出たところアキレス腱に何か当たった、誰かに蹴られた様な感覚がありました。心の中では隣の人を疑いつつ歩こうとした次の瞬間です。何の前触れもなく突如やってきました。かかとをついて歩行が出来ませんでした。既にお気付きでしょう、そうですアキレス腱が断裂していたのです。その時は全く気にもせず直ぐに治ると思っていました。病院に行きコトの重大さに実感させられました。その後ネット検索に依り様々な情報や知識を得る事が出来ました。断裂時にはパチンと言うとても大きな音が出る事も知りませんでした。実際に動画がアップされており音を確認する事が出来ました。アキレス腱断裂、手術、松葉杖、ブーツ装着等、初体験ばかりで精神的にも辛い時期でしたがとても良い経験も出来ました。松葉杖についてコンビ二のドア開閉は非常に困難ですが親切に手伝って頂く事がありました。まだまだ人間捨てたものではない事を感じました。その節は大変御世話様になりました。心から感謝を申し上げます。今後この様な状況に遭遇した際はすすんで手を差し出します。

# 異例の幕明け 竜丘地域自治会 令和2年度スタート

**令和二年  
特異な年度初め**  
自治会長 下平勝熙



平日頃の自治会運営に対し、ご理解とご協力に感謝します。

平成から令和元号リレーの二〇一九年度特別な経験。そして令和元年度末から令和二年度当初の今、新型コロナウイルスが猛威を振るい予定が中止もしくは延期を余儀なくされ思考

**思いもよらない  
状況に**  
公民館長 伊東正直



年度末にかかる頃より新型コロナウイルスが猛威を振るいはじめ、日本でも過去にない日常不安を感じる生活となっております。すでに四月より年度計画に沿った行事も自粛要請を考慮して延期、中止せざるを得ないも

停止・暗中模索の状態の特異な年度初め。定期総会は公民館使用できないため、構成委員に議案書配布、記名押印の形で賛否を意思表示、賛成多数で可決を確認しました。緊急時の超法規的措置を承知おきください。

コロナウイルス招かざる敵に遭遇し感じることは、形式を備えるために膨大な労力を使わない。住民が見、異議を唱えられ運営がチエックできる仕組みを残し、実質的な事務を大事にしていく体制ではないでしょうか？

先日、桜が咲き誇る中、小学校の校庭に明るく元気な声が響いていました。久しぶりに目にしました当り前の風景に心が和みました。近い将来、新型コロナウイルスが収束に向かうことを誰もが願っております。スタートしても活動が実を結ばない現状の中ですが、今後とも公民館の活動へのご協力をよろしくお願い致します。

## 「桜」

飯田市立  
緑ヶ丘中学校長  
平澤和広

本年度より緑ヶ丘中学校長としてお世話になっております平澤和広と申します。四月六日、桜花爛漫のなか素晴らしい出発ができたのも束の間、新型コロナウイルスにより臨時休校を余儀なくされる結果となってしまいました。子どもたちに大変申し訳なく、残念でたまいません。この事態が一日

でも早く収束し、学校と地域に生徒の笑顔が溢れる日を切に願っております。本年度、緑中生徒会テーマは「必笑」。人は、必ずしも勝つことはできませんが、笑うことはできます。「笑」は、人と人との温かいつながりの中で生まれるもの。緑中の爽やかさ、地域の方の熱意に出会う度、そのことを強く



「地域から愛される学校、地域を愛し地域を誇りとする生徒」を目指し、邁進して参ります。竜丘の皆様、温かきご支援ご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

## 新委員長あいさつ

文化委員長  
久保田 伸宏



本年度の文化委員会の行事として、竜丘文化祭、ニューイヤークンサートのイベントを計画しております。

広報委員長  
塩澤 和至



もつと親しみの持てる紙面目指して、地域の身近な関心事や話題を取り上げていきます。

転入

竜丘自治振興センター  
宮澤昌幸



四月から竜丘地区でお世話になることになりました宮澤と申します。

転出

お世話になりました  
新井康平



「竜丘の皆さんの力になりたい」という強い気持ちをもって臨んだつもりでしたが、逆に皆さんに教えられ、助けていただくことばかりでした。竜丘は本当に素敵な地域!!お互い様、助け合いの精神をとっても多くの方から感じました。「竜丘の主人さん」は三ツ井主事にパトナタッチしますが、冒頭の気持ちは変わることなく本庁で頑張ります。二年間お世話になりました。

転出挨拶  
保健師 小池友子

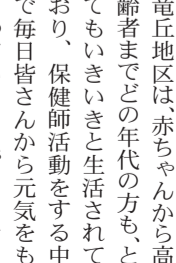
転出挨拶  
保健師 小池友子



二年間という短い間でしたが、お世話になりました。竜丘地区は、赤ちゃんから高齢者までの年代の方も、とてもいきいきと生活されており、保健師活動をする中で毎日皆さんから元気をもらっていました。コロナウイルスが流行していますが、力を合わせて乗り越えましょうね!そして、竜丘に住むすべての方が、これからも健康でいきいきと暮らしていけることを願っております。

転出挨拶  
佐々木まなみ

転出挨拶  
佐々木まなみ



二年五月月という短い間でしたが、大変お世話になりました。

しかし、現在、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が中止となっており、ふるさとコンサートや人形劇フェスタについても中止が決定し、コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、早期収束を願いつつ、収束後は文化祭やニューイヤークンサート等の文化活動を通じた交流と学習の場を幅広く提供できればと考えております。

一年間、皆様のご指導、ご協力を頂きながら、楽しい文化活動を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

体育委員長  
前澤 良寛



体育部の事業を通じて多くの皆様を知り合っており、楽しんで頂き、また、より多くの方に参加して頂けるよう、本館スタッフと力を合わせ、ワンチームで運営していきたいと思っております。新型コロナウイルスの影響で、行事やイベントが中止となっております。一日でも早い収束を望むと共に、

**クイズ**  
**昔の竜丘**  
**ここはどこでしょう**



- ヒント**
- ①昭和40年に撮影されました。
  - ②毎日規則正しく運行します。
  - ③ガタンゴトン
- ※答えは、次号に掲載します。

**おみやみ**  
元公民館長 木下陸奥さん  
長きにわたり、竜丘公民館長として、公民館活動にご尽力いただいた、長野原の木下陸奥さんが、四月十九日にご逝去されました。竜丘公民館長として十二年間、そのうち飯田市民館長を四年間、歴任されました。ここに、ご生前の多大なるご功績に敬意を表し、心からご冥福をお祈り致します。

今、社会情勢は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、活動の制限が大変厳しくなっています。公民館活動も多くの自粛で今更感の事のないストレスがあまりありますが、そこで、今年は今までの活動の振り返りや思い出、昔の風景など今現在と比べる特集とします。おじいちゃんおばあちゃんからお孫さんまで、一緒に考える竜丘の再発見、クイズ「昔の竜丘 ここはどこでしょう?」  
こんな紙面を多くの方に見て頂き、  
またご意見  
等をお願い  
致します。

小学一年生の娘がランドセルを背負い学校に行けたのは一週間。今我が家ではクレール作りやあやとりが流行っています。皆さんはどんな過ごし方をしていますか?

四月から竜丘自治振興センターの窓口、環境委員会事務局を担当させていただきます。

竜丘自治振興センターの窓口にて三年間勤務し、この年度定年退職を迎えました。至らない点は多々ありましたが、竜丘地区の皆さんには大変お世話になりました。特に事務局をやらせていただいた安全委員会や日赤奉仕団などの活動は良い思い出です。

同地区に住んでいながらも地区のことは知らないことばかりで、たかさんのことを教えていただきました。窓口でも自治会でも、迷惑をおかけすることが多々ありました。ですが、それも皆様の人柄のおかげで救われたことがほとんど。楽しく過ごさせてくださいなあと感謝の気持ちでいっぱい입니다。